

2017年6月9日

課題発見ゼミへの期待 趙クラス

1)

私が選択したいゼミは趙先生のゼミだ。

私は将来、地方での課題解決に取り組む社会起業家になりたい。社会起業家としての経験を積んでいくことで、身近な場所から課題を発見し解決していく力を身に付けるのだ。そして、最終的な目標である発展途上での教育格差問題を解決したい。

これらの目標を実現するためには、趙先生のゼミを受講することが最適である。

たとえば、趙先生のゼミでは物事の考え方を社会科学の観点から学ぶことができる。私の目指す社会起業家になるためには、政治学・経済学・商学といった学問分野の知識を習得する必要があり、それらを学ぶためには社会科学が必要不可欠である。

しかし、趙先生以外のゼミで受講するとなると、社会起業家になるためのスキルのうちの一つを深めていく形で学習することになってしまう。社会起業家の基本的なスキルである課題を発見する力は、一つの分野の専門的な知識を身に付けるだけでは得ることができない。

それゆえ、私には社会科学を学ぶことが必要不可欠であり、私の将来の目標を叶えるためには趙先生のゼミを受講することが最適である。

2)

私が現時点でこのクラスを希望した理由は、プレゼンテーション等に苦手意識を持っているからである。しかし、現代社会ではそのような能力は必要不可欠なものであるため、苦手意識は克服しないといけない。そのため、取り上げるテーマの決まってないこのコースは物事を1から考える事が出来るため、とても良いトレーニングとなるのではないかと考えた為である。

3)

趙クラスの授業内容がディスカッション中心であるからだ。社会人になった時にディスカッション能力は絶対に必要になってくる。そのために、早い段階からトレーニングをすることが大切である。受講者全員での、より良いディスカッションを期待する。

4)

私は趙クラスに興味がある。なぜなら、いろいろなことを社会科学的に思考する、つまり、感情論ではなく、第三者が納得するような客観性をもって思考するというのは、様々な問題を考える上で必要不可欠な能力であるからだ。私は、思考能力が比較的弱いのではと不安に思う節があり、弱みであると思っているので、強みに変えられるよう努力したい。さらに、プレゼンテーションをする機会も多いので、プレゼンテーション能力の向上のためのいい訓練になる。これから、どの分野に進んでもプレゼンテーションや、相手に納得してもらえる説明ができる能力は必要になってくる。だからこそ、高度なプレゼンテーション能力をもっておくと、将来自分のため、会社のためになるのではと考える。

複数を選択

+熊坂・佐藤・山口

今回の総合科学部入門講座での話を聞いて、私は B クラスの山口・熊坂・佐藤クラスと G クラスの趙クラスを選択したい。その理由としては、自分はジャーナリストを目指している。そのためには情報の信憑性を確かめ、体系的な情報の真偽を見極める必要がある。その上、その信頼できる情報をどのように人々へ発信するべきであるかというプレゼンテーション力が求められる。その力を養うために、B クラスで「障害」という題材のもと、文章表現を身につける。そして、共同して調査研究する力を身につける。さらに、プレゼンテーションの技能を身につける。それらを身につけて、自分の考えや主張を他人に理解させなければならない。G クラスではプレゼンテーションの技能に加えて、社会科学を学習するのに必要な物事の考え方を習得することを目指している。到達目標として、物事を感情論ではなく、社会科学的な思考方法で思考することである。したがって、これらも自分自身の将来で必要となる、情報を集めて社会科学的な視点から問題提起をして発信していく力を身につけられると言える。それゆえに、自分は後期の課題発見ゼミナールでは B クラスか G クラスを選択するべきである。

+三浦+衣川

第一希望:趙先生

高校時代、小論文の添削をしてもらっていると論文は感情で押し切ったらダメだと指摘されたことがある。自分は物事を感情的に捉えて表現してしまう癖がある。しかしそれでは社会に出てからは通用しないと危機感を覚えたから。またプレゼン能力や社会科学的な思考を養うことでより自分が賢くなれると判断したため。

第二希望:衣川先生

私はこれまでに読書をほとんどしてこなかった。その結果、文系でありながら国語が苦手で大変苦戦した。大学生になり時間的余裕は増えたものの、どんな本に興味があるのか分からないまま本を読めていないので、純粹に本が読みたかった。そして並一通りかそれ以上に上手な文章を書く練習がしたいと思った。

第三希望:三浦先生

自分の身体機能を測りたいから。また自分もフェンシングのアスリートとして最低限の知識をわきまえておかなければならないと思ったから。しかし、これは自分の“好き”という感情が入っていて、最優先に身につけなければならない課題ではないと判断したため第三希望に下げた。

+衣川+内藤

G (趙) 社会のしくみについて学びたいと思ったから。私は将来、公務員になりたいと考えているが、そのためにも必要であるし、一般教養としても重要であると思う。

I (衣川) 文系の学部にいるからには言葉の意味や歴史背景などをもっと突き詰めたいと思ったからだ。高校時代、日本史や国語の授業は好きだったので、もっと日本史や国語に詳しく触れたい。

J (内藤) 他の大学では出来ないことだと思ったから。私は大学では新しいことをしてみたいと思っていたので、狩猟をするという授業はとても魅力だ。地域の人とも関わりを持てるのもいい。